

令和5年度 第1回安曇野市図書館協議会 会議概要

1	審議会名	令和5年度 第1回安曇野市図書館協議会
2	日 時	令和5年6月1日 午後1時30分から午後3時22分まで
3	会 場	安曇野市穂高交流学習センター 多目的交流ホール
4	出席者	唐澤委員、宮尾委員、初谷委員、田守委員、古川委員、鈴木委員、鈴木(研)委員、黒澤委員、杉本委員、望月委員、西村委員
5	市側出席者	三澤文化課長、宮澤中央図書館長、金子豊科図書館長、富田三郷図書館長、太田堀金図書館長、青木明科図書館長、奈良澤課長補佐、中島主査
6	公開・非公開の別	公開
7	傍聴人	2人
8	会議概要作成年月日	令和5年6月3日

○会議の概要

- 1 開会 (奈良澤課長補佐)
- 2 あいさつ (望月会長、三澤文化課長)
- 3 自己紹介
- 4 協議事項 (議長：望月会長)
 - (1) 令和4年度安曇野市図書館事業報告について
 - (2) その他
- 5 その他
- 6 閉会 (奈良澤課長補佐)

4の協議事項概要

議 長 「令和4年度安曇野市図書館事業報告」項番1を事務局よりお願いしたい。

事務局より資料3、項番1説明。

議 長 資料3項番1の説明が終わりました。ご意見ご質問のある方は挙手をお願いしたい。

委 員 デジとしょ信州の登録は図書館に行かないといけないのか。また、読書通帳の記入できる機器の対応はできないか。

事務局 デジとしょ信州の登録手続きを簡便にするのは話題になっているが、現在は図書館で行って頂く。読書通帳はインターネット機能を使う方法で対応している。

委 員 読書通帳、他市では企業支援で行っているところもある。

事務局 機会があれば対応したい。

委 員 絵本リユースの情報発信をしては如何か。

事務局 やれるところからやっていきたい。

委員 お出かけ図書館のPRを館内にPRしてはどうか。館内で行っている企画展示のお知らせをカウンター等でPRしてはどうか。プレスだけでないメディアの有効活用をしてはどうか。あづみ野エフエムが継続されなくなった理由は、ブログなどを活用したPRを検討してはどうか。

事務局 お出かけ図書館のPR状況は把握していないので善処していきたい。企画展示のPRは以前から行っていたが確認して対応したい。あづみ野エフエムは、“いいせやあずみの”の番組の関川パーソナリティが退社されたこと等で番組が継続されなくなった。SNSはツイッターで配信を始めており順々に開拓していく予定。

議長 「令和4年度安曇野市図書館事業報告」項番2を事務局よりお願いしたい。
事務局より資料3、項番2説明。

議長 資料3項番2の説明が終わりました。ご意見ご質問のある方は挙手をお願いしたい。

委員 こどもが読んだ絵本をビジュアル化してイメージに発想したり、当たり前が当たり前でない事を理解するなどを想定したイベントを行ってはどうか。

事務局 ご意見として頂きたい。

議長 「令和4年度安曇野市図書館事業報告」のご質問は以上とします。発言をされていない委員から、事業報告の感想などをお願いしたい。

委員 十数年前に比べ学校図書館と地域図書館の連携が密になっていることを痛感した。子どもたちの学習が深まってきている。幼児期に本の楽しさを感性的に味わってもらう事がポイント。AIとの活用も課題になってくると思う。

委員 調べ学習が本からデジタルに変わってきているが、デジタル情報の正誤は自分で見極める必要がある。本の読み聞かせは自分たちの役目だと感じている。

委員 資料2は、計画段階での推進事業の進捗状況、のような副題を設ければ整合性が取れると思う。推進事業8、9も資料2のまとめに言及してほしい。

事務局 推進事業8はコロナ禍対応の電子書籍についてだが、書いておくべきだった。推進事業9は子ども読書活動推進計画の策定準備だが、教育振興基本計画との関係もあり策定の前段階となっている。具体的に決まってきたら改めて連絡していきたい。

委員 Lineの公式アカウントを活用してはどうか、ツイッターはフォローが多いと流れてしまう。大人のほっこり絵本セラピーやファストブックが好評だったようなので、大人の絵本セットがあっても良いと思うが提案します。

事務局 Lineの公式アカウントは市が始めたところ。先ずツイッターの公式アカウントを充

実させ他のSNSは順次進めていきたい。大人の絵本セットは検討してみたい。

委員 成功している図書館を見据え、10年先を目指していければと思っている。

委員 穂高交流センターのモニターの放映内容と図書館の活用を関連づけた企画を考えてはどうか。

穂高所長 交流センターは市民交流の活用なので、図書館に特化した活用となっていないが、両施設タイアップしていきたい。

中央館長 図書館はリアルもデジタルも一人でも利用者が多くなることが大切。特に、図書館を支えるボランティアや協力者の皆様を大事にして図書館運営を盛り上げていきたい。

豊科館長 情報は、発信するだけではなく受け取る側も必要。リアル図書館からいかに情報を得て貰うか考えていくことが必要で、併せてデジタル活用も考えていく必要がある。

三郷館長 小中学校や公民館が地域内にあるので、その地の利を生かして地域に馴染んでいく図書館利用を促している。

堀金館長 館の目標に乳幼児向け資料の充実を掲げてあるので、その対応をしている。

明科館長 館内で本に親しめる環境や、司書との気楽な関わりがもてる環境づくりを行っていきたい。

議長 「令和4年度安曇野市図書館事業報告」の協議は以上とします。続いてその他、事務局からお願いします。

事務局 第2回図書館協議会で、以前のようなグループによる学習形式ではなく講演会形式による研修会を行いたいが如何か。

議長 講演形式で講演内容は事務局に一任でよいか。賛成の方の挙手をお願いします。全員賛成です。

委員 講演内容については意見を聞いてもらいたい。

事務局 意見を吸い上げ参考にしたうえで、講師の都合等も考慮して決めたい。

委員 質疑の時間も設けて頂きたい。

議長 意見を参考に講演会形式で進めて頂きたい。以上で協議内容はすべて終了しました。

以上